

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公表番号】特表2011-514173(P2011-514173A)
 【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)
 【年通号数】公開・登録公報2011-018
 【出願番号】特願2010-540195(P2010-540195)
 【国際特許分類】

A 4 7 K 5/12 (2006.01)

B 6 5 D 83/76 (2006.01)

A 4 7 K 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 K 5/12 B

B 6 5 D 83/00 K

A 4 7 K 5/12 A

A 4 7 K 1/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサと共に使用される容器アセンブリであって、容器本体部及び、中心軸を有し、かつ前記容器本体部に固定される上側部分を有する或る量の粘性液体を保持するための容器ハウジングと、

前記容器ハウジング内に設置され、前記容器ハウジングの前記上側部分に画定された液体出口から前記粘性液体をくみ上げる働きを有するポンプ装置と、

前記ポンプ装置を作動させるべく、前記上側部分の前記中心軸に沿って配置されたポンプ作動要素とを有し、

前記容器ハウジングが、ディテント要素を有する可動部材またはディテント要素と係合すべき凹部を有する静止部材からなる取付け要素を備えることを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項2】

請求項1に記載の容器アセンブリであって、

前記取付け要素が、ディテント要素を有する可動部材からなることを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項3】

請求項2に記載の容器アセンブリであって、

前記可動部材が、該可動部材における前記ディテント要素とは反対側の端部に設けられた支点を中心として動作可能であることを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項4】

請求項3に記載の容器アセンブリであって、

少なくとも2つの前記可動部材を、前記容器ハウジングの直径方向において互いに反対側に配置されるようにして前記容器ハウジングに設置したことを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の容器アセンブリであって、

4 つの前記可動部材を 2 個 1 組にして、前記容器ハウジングの直径方向において各組が互いに反対側に配置されるようにして前記容器ハウジングに設置したことを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の容器アセンブリであって、

前記可動部材が、前記支点と前記ディテント要素との間に、前記可動部材と平行に配置された直立部分を有するアーム部材をさら備えることを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の容器アセンブリであって、

前記容器ハウジングの前記上側部分に設けられた出口から延出する柔軟性チューブをさらに含むことを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の容器アセンブリであって、

前記ポンプ装置が、前記容器ハウジングの前記上側部分内に配置されたことを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の容器アセンブリであって、

前記ディテント要素を有する前記可動部材が、前記容器ハウジングの前記上側部分に設けられたことを特徴とする容器アセンブリ。

【請求項 10】

容器アセンブリと、カウンタに取り付けられる固定アセンブリとを備えるカウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサ装置であって、

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の前記容器アセンブリを含み、

前記容器ハウジングの前記上側部分が、

(i) 中心軸を有し、かつ少なくとも 1 つの突起部をその表面に有する可動部材または凹部を有する静止部材からなる取付け要素を備える上側部分を有する容器ハウジングと、

(i i) 前記容器ハウジング内に設置され、前記容器ハウジングの前記上側部分に画定された液体出口から前記粘性液体をくみ上げる働きを有するポンプ装置と、

(i i i) 前記ポンプ装置を作動させるべく、前記上側部分の前記中心軸に沿って配置されたポンプ作動要素とを含み、

前記固定アセンブリが

(i) 前記カウンタに取り付けられるディスペンサヘッドと、

(i i) 前記上側部分の前記取付け要素に対して相補的であり、前記上側部分の前記取付け要素が少なくとも 1 つの突起部を有する可動部材である場合は少なくとも 1 つの凹部を含む静止部材であり、前記上側部分の前記取付け要素が少なくとも 1 つの凹部を有する静止部材である場合は少なくとも 1 つの突起部を含む可動部材である相補的取付け要素を有し、前記ディスペンサヘッドに直接的または間接的に連結される連結部材とを含むことを特徴とする粘性液体ディスペンサ装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のカウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサ装置であって、

近位端、遠位端、前記近位端から前記遠位端まで延びる中空シャフト、前記近位端またはその近傍に設けられ前記カウンタの上面に直接的または間接的に載置されるように構成されたフランジ、及び前記フランジと前記遠位端との間に前記シャフトに沿って設けられ、前記カウンタの下面と直接的または間接的に係合するように構成された固定機構を有する細長い構造体と、

前記近位端またはその近傍に設けられ、前記細長い構造体を前記カウンタに固定すべく、前記固定機構を固定位置に配置させるように構成された固定機構係合部材とを有する取付けシステムをさらに備えることを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載のカウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサ装置であって、
前記固定機構係合部材が、前記細長い構造体の前記近位端の近傍から、前記シャフトの側面に沿って下側へ延びるねじ部材を含み、

前記固定機構が、前記シャフトから外側へ延出する上側部分と前記シャフトに隣接して設置された下側部分とを有し前記ねじ部材と螺合するように構成された可動ウイングを含むことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載のカウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサ装置であって、

前記シャフトが、その外面に少なくとも 1 つのチャンネルを有し、

前記ウイングの前記下側部分が前記チャンネル内に位置し、かつ前記ウイングの前記上側部分が前記チャンネルから外側へ延出するようにして、前記ウイング及び前記ネジ部材が前記チャンネル内に配置されるように構成したことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載のカウンタ取付け型の粘性液体ディスペンサ装置であって、

前記シャフトが 2 つのチャンネルを有し、各チャンネル内に前記ウイング及び前記ねじ部が配置されるように構成したことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 1 に記載のディスペンサ装置であって、

前記中空シャフトが、前記遠位端またはその近傍に設けられ、ねじ部材と係合可能に形成された内面を有するカラーと、前記カラーと前記フランジとの間に設けられた折り畳み可能なスリーブ部分とを含み、

前記固定機構係合部材が、前記シャフトの前記近位端から前記カラーまで延在し、前記カラーの前記内面と螺合するねじ部材を含み、

前記固定機構係合部材を所定の方向に回転させたときに、前記カラーが前記フランジに向かって移動し、それにより前記折り畳み可能スリーブが外側に広がるようにして折り畳まれて前記カウンタの前記下面と係合するように構成したことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 に記載のディスペンサ装置であって、

前記フランジと前記近位端との間に配置され、前記ディスペンサヘッドを前記取付けシステムに固定する役割を果たすディスペンサヘッド固定部材をさらに含むことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 7】

請求項 1 1 に記載のディスペンサ装置であって、

前記遠位端が、前記細長い構造体を前記ディスペンサシステムのカウンタ下側部分に連結させるための連結手段をさらに含むことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 8】

請求項 1 1 に記載のディスペンサ装置であって、

前記遠位端から前記シャフトを取り囲むようにして前記シャフトに取り付けられ、前記カウンタの前記下面及び前記固定機構と係合接触するスペーサをさらに含むことを特徴とするディスペンサ装置。

【請求項 1 9】

請求項 1 1 に記載のディスペンサ装置であって、

前記カウンタと前記フランジとの間に配置されるように構成されたガスケットをさらに含むことを特徴とするディスペンサ装置。